

## 2019年度 豊岡市域の温室効果ガス排出量について 《2022年8月29日作成》

市では2030年度の市域の温室効果ガス排出量が2013年度比で▲28.1%とする目標を立て、脱炭素化の取組みを進めています。このたび、2019年度の市域の温室効果ガス排出量を算定しましたので、お知らせします。

### 1. 算定方法の見直し

温室効果ガス排出量の算定方法のうち、電力使用量に係る温室効果ガス排出量については、関西電力の販売電力量に基づき算定する方法としてきましたが、2020年度数値から関西電力の販売電力量が入手できなくなるため、次のとおり算定方法を見直します。

「産業部門」については、算定方法を環境省マニュアル（「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）（Ver1.1）」）に基づいて算定することとし、温室効果ガス排出量を算定し直しました。

また、「民生家庭部門」及び「民生業務部門」についても、同様の理由で、2015年度数値から「都道府県別エネルギー消費統計」による算定に変更しました。

#### **【見直し事項】**

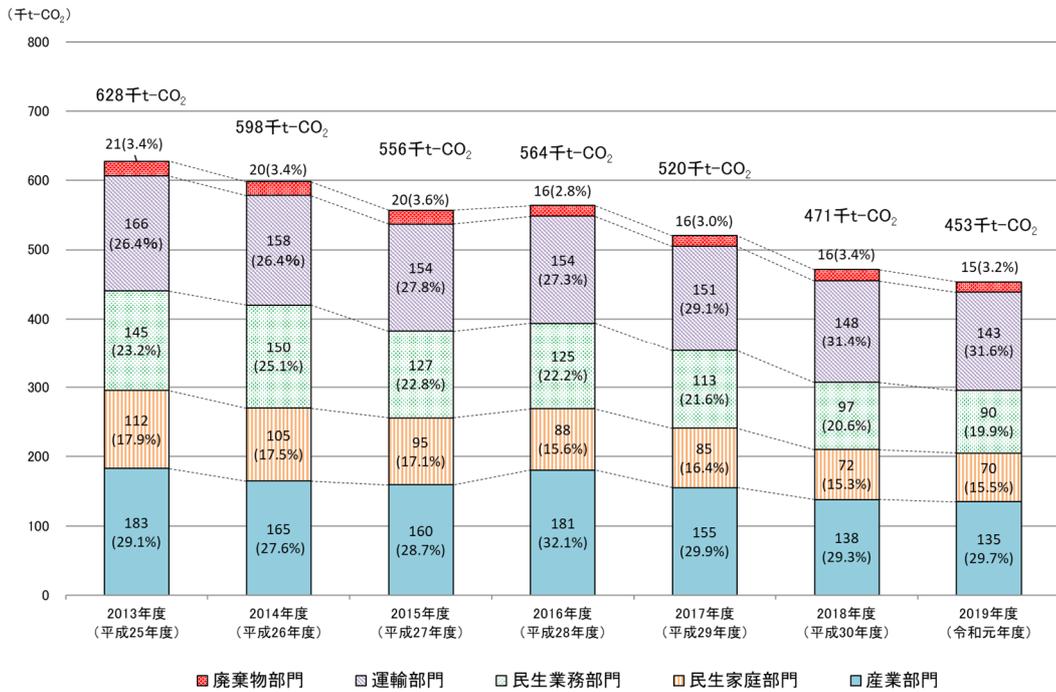
- ・「産業部門」のエネルギー消費量について、関西電力の報告値を総合エネルギー統計（全国値）に変更するとともに、過去の年度において改訂内容を反映
  - ・民生家庭部門の電力について、関西電力の報告値を「都道府県別エネルギー消費統計」に変更
  - ・民生業務部門の電力について、関西電力の報告値を「都道府県別エネルギー消費統計」に変更
  - ・民生業務部門の電気の按分比に用いる兵庫県全体の従業員数の値が2012年度、2016年度で大きく異なっている（約40万人）ため、2016年度の数値で統一
  - ・廃棄物部門について、プラスチックに含まれる水分含有率を2016年度以降の数値に反映
- ※2016年8月にクリーンパーク北但が稼働したため、2016年度以降の数値を改訂

## 2. 市域総排出量

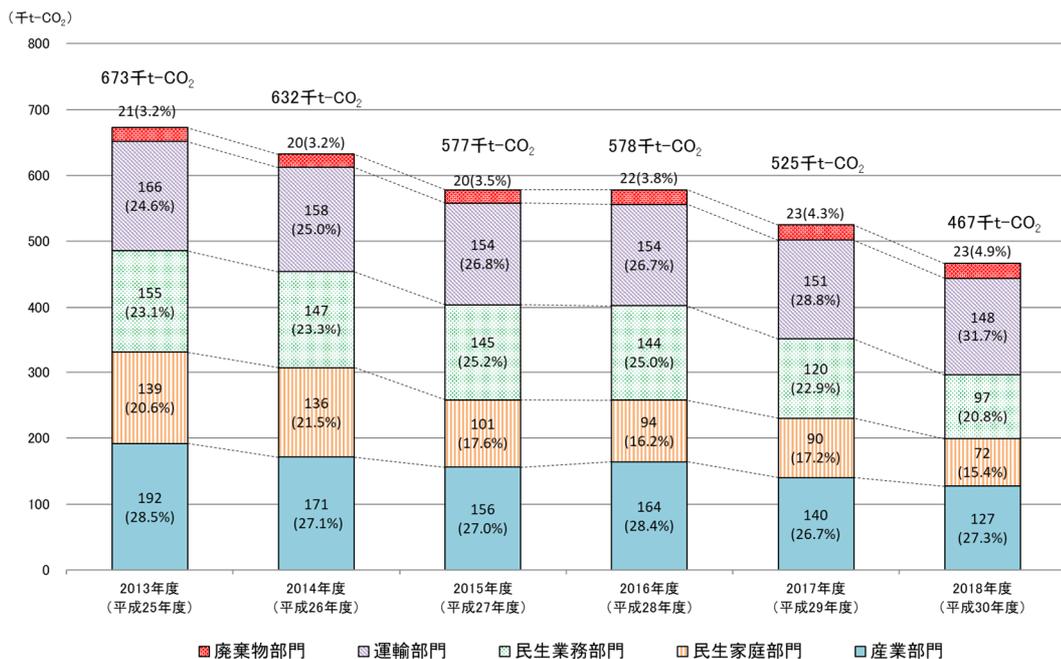
2019年度総排出量は、453千t-CO<sub>2</sub>で、2018年度に比べ18千t-CO<sub>2</sub>減少(3.9%減)しました(国:2.9%減、兵庫県:5.2%減\*)。

また、豊岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の基準年度(2013年度)に比べ175千t-CO<sub>2</sub>減少(27.9%減)しました(国:14.0%減、兵庫県:19.7%減\*)。

※ 兵庫県の削減率は、2019(R1)年度の温室効果ガス排出量(速報値)による数値である。



豊岡市の温室効果ガス排出量の推移(2013年度~2019年度)



【参考】算出方法見直し前の温室効果ガス排出量の推移(2013年度~2018年度)

### 3. 算定方法見直しに伴う温室効果ガス排出量の比較表

(単位：千 t-CO<sub>2</sub>)

	2013年度 排出量	2014年度 排出量	2015年度 排出量	2016年度 排出量	2017年度 排出量	2018年度 排出量
見直し前	673	632	577	578	525	467
見直し後	628	598	556	564	520	471
増減	▲45	▲34	▲21	▲14	▲5	4

### 4. 部門別増減状況と要因

<状況>

豊岡市部門別 CO<sub>2</sub> 排出量 (2013年度・2018年度・2019年度の比較)

部門	部門内訳	2013年度 排出量 (千 t-CO <sub>2</sub> )	2018年度 排出量 (千 t-CO <sub>2</sub> )	2019年度 排出量 (千 t-CO <sub>2</sub> )	削減割合 (%) 上段： 前年度比 下段： 2013年度比	部門割合 2018→2019 (%)
産業	製造業、農 林水産業、 建築業、鉱 業	183	138	135	▲2.2 ▲26.2	29.3→29.7
民生 家庭	自動車を除 く家庭消費	112	72	70	▲2.8 ▲37.5	15.3→15.5
民生 業務	事務所、ビ ル、ホテル、 サービス業 など	145	97	90	▲7.2 ▲37.9	20.6→19.9
運輸	乗用車、バ ス、鉄道、飛 行機など	166	148	143	▲3.4 ▲13.9	31.4→31.6
廃棄物	廃棄物の埋 め立て及び 焼却、下水 処理	21	16	15	▲6.3 ▲28.6	3.4→3.2
合計	—	628	471	453	▲3.8 ▲27.9	—

※ 端数処理の関係で、内数と合計が一致しない場合があります。

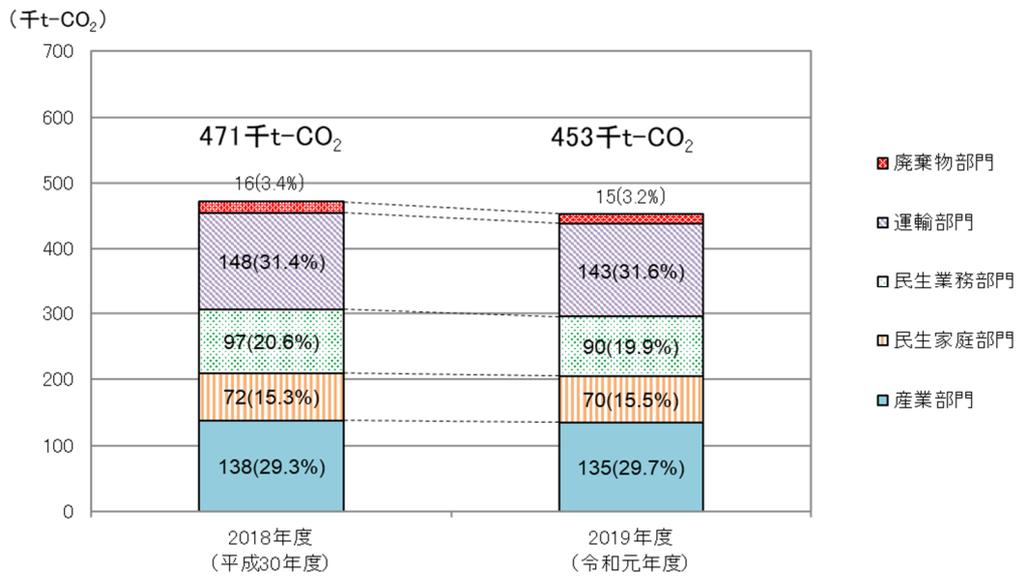
<要因>

・ 民生業務部門

前年度に比べ7.2%減少しました。電力のCO<sub>2</sub>排出係数（電気を作るために発生するCO<sub>2</sub>の割合：2018年度0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh、2019年度0.318kg-CO<sub>2</sub>/kWh）が小さくなったことや、化石燃料（主に、都市ガス、石炭、灯油）の使用量が減ったことが要因と考えられます。

・ 廃棄物部門

前年度に比べ6.3%減少しました。電力のCO<sub>2</sub>排出係数が小さくなったことやクリーンパーク北但における廃棄物焼却量が減少したこと、下水処理場における下水処理量が減少したことが要因と考えられます。



豊岡市の温室効果ガス排出量の推移（2018年度・2019年度）